2011年5月13日

2011年度の鉄軌道事業設備投資計画は総額３６７億円

耐震補強などの安全対策と、東横線・副都心線の相互直通運転に向けた工事を進めます

東京急行電鉄株式会社

◇安全対策として、引き続き耐震補強工事を行います。
◇全駅バリアフリーへ向けた改良工事を行います。
◇環境配慮型の新型車両を71両導入します。
◇渋谷～代官山間の地下化工事も大詰め。2012年度の東横線と東京メトロ副都心線との相互直通運転開始へ向け、工事を進めます。

当社では、2011年度に鉄軌道事業で総額367億円の設備投資を行います。鉄道事業者の最重要の責務である安全対策をはじめ、鉄道ネットワーク拡充のための大規模改良工事やサービス向上などに引き続き積極的に取り組んでいきます。

安全対策とサービス向上の取り組みには232億円を投資します。2011年度は、鉄道構造物の耐震補強工事、下神明駅のバリアフリー化に向けた改良工事など、より安全で安心・快適な東急線を目指していきます。また、東横線の68両、池上線・東急多摩川線の3両、計71両を節電や環境に配慮された新型車両5000系と5000系をベースにした7000系車両に更新します。

鉄道ネットワーク拡充では、135億円を投資します。東横線と東京メトロ副都心線との2012年度の相互直通運転開始を目指し、東横線渋谷～代官山間地下化工事や特急・通勤特急・急行列車の10両化対応工事を柱とする「東横線渋谷～横浜間改良工事」を引き続き進めていきます。

2011年度設備投資の詳細は別紙のとおりです。

以　上

（別紙）

１．安全対策とサービス向上の取り組みに232億円

「安全の確保」は鉄道事業者の最大かつ最重要の、お客さまに対する責務であり、積極的に安全対策投資を行います。また、どなたでも安心して快適にご利用いただける鉄道を目指し、バリアフリー化などの駅改良工事にも取り組んでいきます。

① 鉄道構造物の耐震補強工事

地震などの自然災害や事故に強い東急線を目指し、駅、高架橋、トンネルなどで耐震補強工事を引き続き進めています。2011年度は、学芸大学駅・大井町駅・五反田駅付近高架橋と用賀駅、長津田駅などで実施します。

② 駅施設のバリアフリー化

全てのお客さまに快適に利用していただける鉄道を目指して、バリアフリー化工事を積極的に進めています。緑が丘駅は2011年3月にエレベーターなどを設置しましたが、引き続き2011年度中の完成を目指して工事を進めます。2011年3月に着工した下神明駅改良工事は、2013年度にバリアフリー化を完了し、2014年度の完成を目指しています。これにより東急線98駅全駅でバリアフリールートが確保されます。そのほか、菊名駅西口、五反田駅のＪＲ山手線との乗り換え口の昇降機の増設も行います。

③ 駐輪場の新設

駅周辺の環境整備として、元住吉駅、白楽駅など東急線沿線で、駐輪場の新設を進めています。

④ 新型車両への更新

当社では、車両への電力回生ブレーキ（※）の導入率を2001年度から100%を継続するなど、節電や環境への配慮と混雑緩和・快適性向上を両立した新型車両の導入に取り組んでいます。

2011年度は、東横線の68両、池上線・東急多摩川線の3両、計71両を、新型車両5000系と7000系（5000系をベースにした車両）に更新します。5000系車両は、機器を多重化することにより、一部機器に故障が発生しても列車運行への影響を最小限に抑えた車両です。さらに、床面とホームとの段差を小さくするなどバリアフリー対策も施しており、従来の主力車両であった8000系に比べ使用電力を約40%削減するなど、「人と環境に優しい車両」です。2011年度の更新により東急線全車両の約48%が環境配慮型車両になる予定です。また、田園都市線の5000系車両では、遅延抑制と混雑感の軽減を目的として、6ドア・座席格納車両を導入し、朝ラッシュ時間帯に集中的に運行しています。

（※）回生ブレーキ

ブレーキ作動時に発生させた電気エネルギーを、架線を通じて他の電車に送り、再び利用することができるブレーキ機能

東横線と東京メトロ副都心線の乗り入れ車両として更新する５０５０系（４０００番台）車両

２．鉄道ネットワーク拡充に135億円

鉄道ネットワークの拡充による利便性向上のため、大規模改良工事を推進しています。

東横線渋谷～横浜間改良工事

東横線と東京メトロ副都心線との2012年度の相互直通運転開始に向けて、「東横線渋谷～横浜間改良工事」を進めています。相互直通運転により、横浜～渋谷～新宿～池袋が1本でつながり、鉄道ネットワークがさらに充実します。また、相互直通運転開始に合わせて、特急・通勤特急・急行列車を10両編成（現行は8両編成）で運転します。

この工事は2005年3月から「特定都市鉄道整備積立金制度」を活用して進めています。

①渋谷駅～代官山駅間地下化工事

2002年5月に工事着手した渋谷駅は、2008年6月の東京ﾒﾄﾛ副都心線開業により一部の使用を開始しました。現在は2012年度の相互直通運転開始に向け、渋谷駅では残る躯体の構築工事を、渋谷駅から JR 線交差部付近までのシールﾄﾞトンネル区間ではレール敷設工事を、ＪR線交差部付近から代官山駅にかけては掘削工事と躯体の構築工事を行っています。

渋谷～代官山間のシールドトンネル

②10両編成化・速達性向上工事

10両編成に対応するため、特急・通勤特急・急行停車駅ホームの延伸工事を進めています。

中目黒駅改良工事　・・・・・・　①ホームとホームの屋根を延伸します。
②上りホームの混雑を緩和するため、上り線渋谷側のホームを拡幅します。
③上り・下り各ホームにエスカレーターを新設します。
④横浜側に改札口を新設します。
⑤高架橋の耐震補強工事を実施します。

学芸大学駅ホーム延伸工事・・　ホームを延伸するとともに、耐震補強工事を行います。
自由が丘駅ホーム延伸工事・・　ホームの延伸工事を行います。
田園調布駅ホーム延伸工事・・　ホームの延伸工事を行います。
多摩川駅ホーム延伸工事・・・・　ホームの延伸工事を行います。
武蔵小杉駅ホーム延伸工事・・　ホームとホームの屋根の延伸工事を行います。
日吉駅ホーム延伸工事　・・・・　ホームの延伸工事を行います。
綱島駅ホーム延伸工事　・・・・　ホームとホームの屋根の延伸工事を行います。
菊名駅ホーム延伸工事　・・・・　ホームの延伸工事を行います。

※横浜駅は、2010年度中にホーム延伸工事を終了しています。

以　上